

7月25日に開催された『学校教育ICTセミナー』が新聞記事で紹介されました！
 (有)つるぎ出版社『オール印刷』2012年8月8日(水)

名鉄局印刷(株)

「学校教育ICTセミナー」開催
 「電子書籍リーダー」体験コーナーも用意

名鉄局印刷(株)(箕浦靖夫社長)は、7月25日午後3時～5時、ウインクあいち(愛知県産業労働センター)で「学校教育ICTセミナー」を開催した。講演は、(株)ジンジャーアップ代表取締役井手啓人氏、(株)アルフレッドコア クラウドビジネス部長横林英勲氏、名鉄局印刷(株)営業部長高原裕佳氏が講師を務めた。また、先進の「eラーニング」「遠隔ライブ授業」をはじめ、「iPad」や「電子書籍リーダー」で読む研究報告書などの体験コーナーも用意された。

セミナーの冒頭、挨拶に立った箕浦社長は、「学校教育ICTセミナーを開催するに当たり、電子アンケートを100校・119名に15項目ほど出した。その結果、皆様がICTに興味があることがわかった。今回3本立てで行なう。1つは先進的なeラーニングの提案



挨拶をする箕浦靖夫社長

2年に1度発行しているとして重宝がられている。中部印刷製本機械工業

である。2つ目はタブレットを使った遠隔ゼミ。3つ目はシラバスや紀要などの有効活用、そして電子媒体への移行をテーマにしている。少しでもお役に立つことを願っている」と述べた。

第一部(株)ジンジャーアップ代表取締役井手啓人氏の「次世代教育のあるべき姿・eラーニングからeストーリー」では、同社のeラーニングの活用を「現在、教育機関への導入実績、教育目的での官公庁への導入実績、企業への導入実績の3つの用途で活用されている」と、導入企業、団体を紹介した。

また、「今までのeラーニングは企業での活用が主だった。企業は何をやったか。コンプライアンス、情報セキュリティを社員にやらせた。だから、

一般社員の方はeラーニングにより印象を持っている方は少ない。何故か。お仕着せだからである。今までのeラーニングは管理者のためのシステムであった。管理者のた

として「生まれたときからインターネットがあった世代の人たちが20歳になる。あと2年で大学を卒業して社会に入ってくる。そういう人たちを使

ていかなければならない。上手くインターネットを利用して学ばなければならない。今までの通

は車の両輪である。わかり易く、興味を持ってもらい、効果の上がるコンテンツは何か。

eストーリーの基本理念、個人の学習をトータルでサポートする。小中高、大学、生涯教育までの一貫した流れ、ストーリーを視野に入れる」と紹介した。

また、「今までのeラーニングは企業での活用が主だった。企業は何をやったか。コンプライアンス、情報セキュリティを社員にやらせた。だから、

んなに短時間で簡単に！」と題した講演が行なわれた。その中で、同社が行なった大学アンケートの結果を、電子化対策については、必要性を感じているが87%。印刷物よりデジタルデータの活用機会が増えていると感じている人が77%。既存の出版物や印刷物の電子化は、既に行っている、考えているが63%、全く考えていないが25%とし、エクセル、ワードで制作されたデータの多方面での活用、また同社の自動組

第三部では名鉄局印刷営業部長の高原裕佳氏による「シラバスや紀要がこ

第二部は、(株)アルフレッドコア クラウドビジネス部長の横林英勲氏の「いつでも、どこでも、場所を選ばず遠隔ゼミを実現！」と題した講演が行なわれた。



森澤嘉昭氏・喜寿記念出版
 「文字と社会、そのかけ橋として」
 森澤嘉昭とその時代」刊行

(株)モリサワ(森澤彰彦)一行の挨拶の中で「森澤嘉昭(社長)の会長、社長とし昭が何よりも大切にしている長きに渡り同社の繁栄きたのは人との絆であ